

キャラクター名

クロユリ

プレイヤー名

メインクラス	アコライト	Lv.1:		レベル	3
サポートクラス	バード	Lv.1:	バード	性別	女
称号クラス				年齢	10(1005年現)
種族	エクスマキナ			境遇	渡来
出自 (効果)	神官			目標	憧憬

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運	
基本値	14	8	7	9	8	14	8	
ボーナス	4	2	2	3	2	4	2	
クラス修正	0	1	0	1	1	2	1	
他修正						1		
能力値	4	3	2	4	3	7	3	

HP	45
MP	51
フェイト	5

	装備品	射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ビギナーズロット	至近	-1	5	0	0	0	0	0
左手	軽銀の盾		0	0	0	5	0	1	1
頭部	マキナハット					1	4		
胴部	マキナオベルクアート					7	5		
補助	マキナクーテム					4			-1
装身具	警告の碧水晶								
	能力値		3	0	2	0	7	5	9
スキル	【フェイス：ダグデモア】							2	
その他									
	総計(右)		2	5					
	総計(左)		3	0	2	17	16	8	9
	総計(両)								m
	ダイス数		2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数	所持品	
トラップ探知	3			3	+ 2 d	冒険王セット	ポーションホルダー
トラップ解除	3			3	+ 2 d		→ハイMPポーション＊3
危険感知	3			3	+ 2 d	ベルトポーチ	→万能薬＊2
エネミー識別	4			4	+ 2 d	異次元バッグ	
アイテム鑑定	4			4	+ 2 d		ランチボックス
魔術判定	4			4	+ 2 d	キャップライト	→果実＊3
呪歌判定					+ d		
錬金術判定					+ d		
						小道具入れ	ウエポンケース
						→祝福の花	
						→転移石（ライン）	
現在重量：7							
最大重量：40						所持金：-19167	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
チューニング	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：	能力基本値をふたつ選択し、キャラクター作成時に、選択した能力基本値の片方に+4し、もう片方に-1							
プロテクション	3	3	DR直後	20m	単体	自動成功	1/MP	
効果：	対象が受ける予定のダメージに-[SLd]							
ヒール	★	4	メジャー	20m	単体	魔術判定		
効果：	対象のHPを「3 d + C L ＊3」点回復する。							
アフェクション	★		DR直後	20m	単体	自動成功	1/MP	
効果：	対象がダメージを受けるダメージロールの直後に使用する。そのダメージを0にする。							
クイックヒール	★	5	イニシアチブ		自身	自動成功	1回	
効果：	ヒールと同時に使用する。この効果により、ヒールがイニシアチブプロセスで使用可能になる。							
	1							
効果：								
アレグロ	2		パッシブ		自身			
効果：	呪歌の判定の達成値に+「SL＊2」する							
シルバリィソング	★		パッシブ		自身			
効果：	呪歌判定に+1 dする。							
ジョイフルジョイフル	1	7	メジャー	20m	単体	呪歌判定	1回	
効果：	行動済みのキャラクターに有効。対象を未行動にする。							
アンプロンプチュ	★	7	判定の直前		自身	自動成功	1回	
効果：	判定の直前に使用する。その判定を呪歌判定で代用判定する。							
インサイト	★		パッシブ		自身			
効果：	はったりや嘘を見抜くなどの【精神】判定に+1 dする。							
フェイス：ダグデモア	★		パッシブ		自身			
効果：	【行動値】に+2する。							
ハンズオブライトⅠ	★		戦闘前		自身	自動成功	アコライト	
効果：	効果をダイスで求める「分類：魔術」に有効。フェイトを1点消費。ダメージ軽減を行う「分類：魔術」の効果に+1 dする。この効果はシーン終了まで持続する。							
エンラージリミット	★		パッシブ		自身			
効果：	携帯品の重量制限が「【筋力基本値】＊2」になる。							
効果：								

本名は「クロユリ00」。「クロユリ」シリーズの一人っ子として誕生する。

元々の適性は一般的な「アコライト」で、才能を伸ばすのなら「アコライト」技能を主に磨くことになると期待されていた。

そんなある日、「歌姫聖女」の巡礼で「聖女」の歌声を聞く機会があり、彼女の回路に衝撃が走った。

彼女は雷攻撃を受けたかのように感銘を受けて、あの日以来彼女の目標は「歌姫」になった。

技術を磨くべく、鍛錬を繰り返しデータを取り、日々能力のアップデートに励んだ。無理な鍛錬で音声パーツが損傷、人族という喉を痛めることもあった。能力のアップデート自体は簡単にできる。だが、アップデートした能力を扱う技術は人族同様にセンスを磨く必要があるため、「エクスマキナ」といえど簡単じゃない。そんな彼女の努力も空しく、機械だからという理由で彼女の技術が評価されないことも多々あった。ある時、彼女はとある理不尽なスキャンダルをきっかけに芸能界から姿を消したのだった。

そんな彼女がいるのは遺跡の街「ライン」。度重なる理不尽な誹謗中傷で、傷心した彼女は大手芸能事務所から離れて、小さな劇団にひっそりと所属していた。